

街じゅうがキミのあそびばになる！！ こどもゆうゆうスペース

活動主体名 こどもゆうゆうスペースサポーターの皆さん

自治体名 神奈川県二宮町

関係する学校 二宮町立小学校 3校

| 活動の区分 | | | |
|----------|----------|--------|-----|
| 学校支援地域本部 | 放課後子ども教室 | 家庭教育支援 | その他 |
| - | ○ | - | - |

基本データ

(平成 23 年度実績)

| | | | | |
|----------|---|------------|-------------------------------------|-----------|
| 学校支援地域本部 | コーディネーター数 | ボランティア登録数 | 開始年度 | 補助の有無 |
| | - | - | - | - |
| 放課後子ども教室 | コーディネーター数 | ボランティアのべ人数 | 開始年度 | 補助の有無 |
| | 0人 | 74人 | 20年度 | なし |
| | 実施場所 | 子どもの平均参加人数 | 年間開催日数 | 児童クラブとの連携 |
| | 二宮町生涯学習センター 二宮町ラディアンテニスコート 二宮町立体育館 二宮町民運動場 町営山西プール 二宮町民温水プール | 33人 | 11日 (14日を予定していたが、危機管理のため3日中止した。) | なし |
| 家庭教育支援 | 教育活動支援員等の数 | 活動拠点 | 年間活動日数 | 補助の有無 |
| | - | - | - | - |

活動の概要

子どもが安心して遊んだり学んだりできる場を提供し、子どもの健全育成の一助とすること、また、地域住民や青少年が場づくりに参画することにより、地域で子どもを育てるという気運を高めることを目的に開催している。

二宮町内在住の全ての小学生を対象に、毎月第2・第4土曜日、町内スポーツ施設等6施設で毎回場所を変えながら開催する。自由に過ごす児童を、ゆうゆうスペースサポーター(以下サポーターという)が見守る。

活動紹介

基本的には**自由な遊び場**として開催しているが、毎回サポーターが特技を活かして目玉イベントを用意する。昔あそび名人会、アクティブクラブ、体育指導委員(現スポーツ推進委員)、青少年ボランティア、参加者の保護者やその他地域の大人がサポーターとして活動している。

(例)

- 昔遊び名人会所属サポーターによる折り紙やチラシを使った昔遊び
- 体育指導委員によるバウンスポール教室
- 少年野球の監督をしているサポーターによる野球指導
- 飾り結びの先生をしているサポーターによる組紐で可愛い飾り作り など



いろいろな特技を持ったサポーターさんがいるゆうゆうスペースが、とっても楽しい！

取組の変遷

1、2年目

準備・立ち上げ期

◇課題

- ・ 子どものニーズがわからない。

◇解決に向けた取組等

- ・ 試行的に、二宮町生涯学習センターで、講師を呼び、内容も決め、単発の講座を開催した。
- ・ 2年目は、引き続きニーズを探るため、回数を増やし、開催した。

3年目

基盤形成期

◇課題

- ・ 年間を通して遊べるようにしたい。
- ・ 講座形式でなく、自由な遊びができるようにしたい。
- ・ サポーターの確保

◇解決に向けた取組等

- ・ 参加者登録制度をはじめ、1度登録すると最後まで参加可能になる制度に変更した。
- ・ 子どもが自由に遊べるよう、遊び道具を常設した。
- ・ 既存の団体にサポーターを依頼した。

4、5年目

定着期

◇課題

- ・ 参加人数が少ない。
- ・ 女子の参加が多く、男子の参加が少ない。
- ・ 子どもと関わりたいという気持ちのある人材を、サポーターとして地域の中から積極的に発掘したい。

◎現在は、土曜日、日曜日の午前中に、町内施設で開催しているが、子どもにとってどのような形での開催が一番望ましいか、地域の子どもと深く関わる大人の代表で構成された「放課後子ども教室検討委員会」で検討を進める。

◇解決に向けた取組等

- ・ こどもゆうゆうスペースの魅力が上がるように、参加申込書やポスターを楽しいイメージになるように作成したり、プールや粘土遊びなど目玉となる内容を考えた。
- ・ 男子が参加したくなるよう、水泳や野球などのスポーツや将棋が得意な人材を、サポーターとして地域から発掘し、男子が楽しめる環境を創るよう心がけている。
- ・ 参加者を募集する時に、合わせてサポーターの募集も告知し、参加者の保護者に、サポーターとなっただけのような仕組みを作った。